



NDB から ND への移行

- [NDB から ND への移行 \(1 ページ\)](#)

NDB から ND への移行

現在 NDB 集中型バージョン 3.10.4 (または 3.10.5.x) を使用していて、アップグレードする予定の場合は、ND 4.2 の一部として利用可能な NDB バージョンにアップグレードできます。

Nexus Data Broker (NDB) の集中型デプロイメントから Nexus Dashboard (ND) に移行するには、次の手順を使用してください。

ND 4.2 への移行でサポートされているパスは次のとおりです。

- NDB 3.10.4 または 3.10.5.x から ND 4.2 への移行。
- リリース 3.10.4 より前の NDB バージョンの場合、ND 4.2 への移行は 2 段階のプロセスです。3.10.4 より前の NDB バージョンは、まず 3.10.4 (または 3.10.5.x) にアップグレードする必要があります。このアップグレードでサポートされている NDB バージョンは、3.8.x、3.9.x、3.10.1、3.10.2、3.10.3 です。

NDB リリース 3.10.4 または 3.10.5.x にアップグレードするための詳細な手順については、それぞれの [Nexus Data Broker Deployment Guide](#) を参照してください。

例: NDB 3.8.1 を ND 4.2 にアップグレードする場合、最初に NDB 3.10.4 (または 3.10.5.x) にアップグレードしてから ND 4.2 に移行します。

始める前に

1. Nexus Data Broker GUI にログインし、標準規格の手順を使用して構成ファイルをダウンロードします。
[管理 (Administration)] > [バックアップ/復元 (Administration)] > [アクション (Actions)] に移動します。設定はローカル マシンまたはサーバーにバックアップできます。
2. [Github](#) にある `backup_converter.sh` ファイルを使用して、NDB 構成ファイル (ステップ 1 でダウンロードしたもの) を ND 互換ファイルに変換します。

3. (オプション) `./backup_converter.sh -f {zip_file} -v {ND_version} -k {password}` を使用して暗号キーを作成します。スクリプトの実行の手順 ([Github](#)) を参照してください。この暗号化キーは後から変更できません。バックアップの復元時に同じキーを入力する必要があるため、暗号キーを保存してください。
4. 「[Github](#)」から入手可能な「`steps_to_generate_ND_format_backup.txt`」ファイルに詳述された手順にしたがってください。ファイルには、NDB構成ファイルをND互換ファイルに変換するための詳細な手順が含まれています。ND互換ファイルの名前は、`cisco-nddb-backup.tar.gz`です。

手順

ステップ1 Nexus Dashboard GUI にログインします。

ステップ2 [管理 (Administration)] > [バックアップ/復元 (Backup and Restore)] に移動します。

ステップ3 [バックアップと復元] 画面で、[復元 (Restore)] ボタンをクリックします。

ステップ4 復元 画面で、次のように入力します。

- a) ソース：バックアップ ファイルの場所
- b) バックアップ ファイル：変換された ND 互換ファイル。
- c) 暗号キー：事前に作成したカスタム暗号キーを入力します。暗号キーを設定していない場合、デフォルト値の `cisco123` が割り当てられます。
- d) [検証とアップロード] をクリックします。[ファイル名] フィールドには、ND 互換ファイル (`cisco-nddb-backup.tar.gz`) が自動的に入力されます。
- e) 検証が完了し、[次へ (Next)] をクリックします。

検証の進行状況は緑色のバーで示され、100% が表示されるまで待ちます。

ステップ5 (復元画面の次のページ) 永続的なIP構成を上書きするには、「このバックアップから永続的なIP構成を復元しない」チェックボックスをオンにしてください。

チェックボックスをオンにしてください。そうしないと、復元プロセスは失敗します。

ステップ6 [復元 (Restore)] をクリックします。

ステップ7 復元開始の確認画面で、[復元] をクリックします。

確認後、移行プロセスが開始されます。進行状況をモニターできます。さまざまな段階は進行状況バーで示されます。

ステップ8 [閉じる (Close)] をクリックします。

次のタスク

移行プロセスの後、次の手順を実行します。

1. ND GUI で、[管理 (Manage)] > [ファブリック (Fabrics)] に移動します。

2. 必要な NDB ファブリック (NDB デフォルト、またはスライスを作成した場合はスライス名はファブリック名) を選択します。
3. [アクション (Actions)] > [再計算と展開 (Recalculate and Deploy)] をクリックします。
これにより、NDB デバイスの構成が更新されます。
4. デバイス モードをチェックします (管理 > インベントリ)。この時点で、モードは「通常 (Normal)」として表示されます (移行プロセス中、デバイス モードは [移行 (Migration)] と示されます)。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。